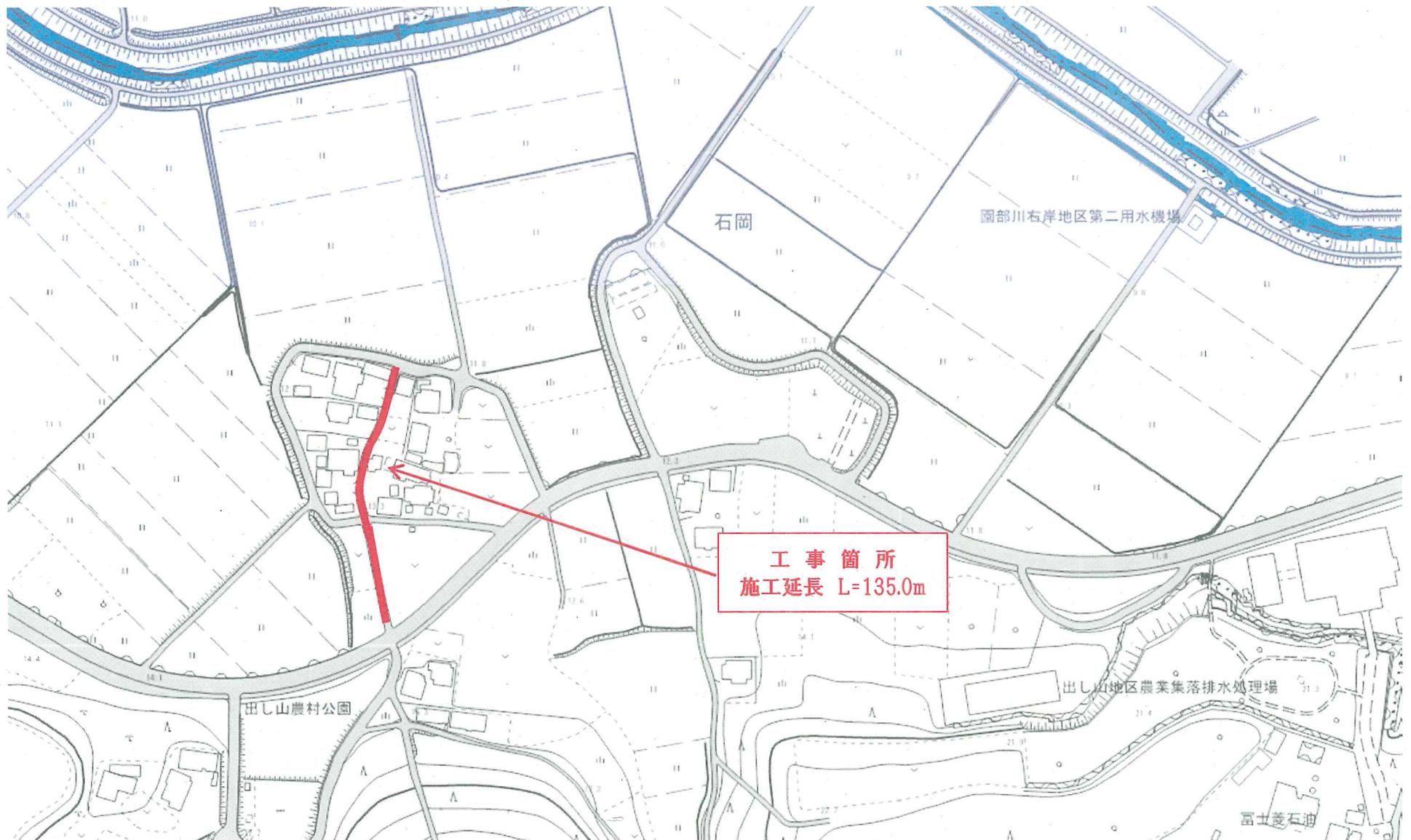


位置図

R元単・市道A3030号線道路舗装工事
石岡市 東府中 地内



R 元単・市道 A3030 号線道路舗装工事（石岡市 東府中 地内）



特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

第4条 工事施工の作業時間帯は、下表を標準とすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
舗装工	再生アスファルト	再生密粒As20
基礎工	再生クラッシャーラン	RC-40

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事中資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

- (4) さし枠装着車，物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず，また積み込ませないこと。また，これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両，さし枠装着車，不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等，過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には，早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み，法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ，同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては，交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

第9条 工事の施工にあたっては，別添図面のとおり，交通誘導員及び保安要員を配置し，一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお，現道等に関する工事又は業務において交通誘導員の配置が必要な場合には，交通誘導員Bを必要員数配置するものとし，かつ上記指定箇所の場合には内1人以上交通誘導員A(有資格者)を配置するものとする。なお，交通誘導員は警備業者の警備員としているが，やむを得ない理由により受注者がこれを確保できない場合には，上記以外の者が交通誘導を行うことを認め，交通誘導に支障が無いよう指示書で指示するものとする

(発生土の処理)

第10条 該当なし

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては，下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は，早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方，または燃料納入業者を選定するにあたっては，不正軽油を使用する者，または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また，調査の際には，現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して，法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は，直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は，共通仕様書1-1-34に基づき，労働安全衛生法等関係法令を遵守し，特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は，高所作業における作業床，囲い，二段手すり，幅木，防網の設置，作業員の安全帯の使用，悪天候時の作業禁止，照度の保持，踏み抜きの防止，不用のたて抗等における危険の防止，昇降設備の設置，墜落危険箇所の立入禁止等により，墜落・転落災害の防止措置を講ずること。

- (2)受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3)受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4)受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5)受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6)受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

(その他)

第15条 本工事は、既設舗装面と舗装撤去箇所との間に段差が生じるため、看板や照明灯等を適切に設置し安全対策を施すこと。

第16条 (工事成績評定について)

本工事評定については、石岡市建設工事成績評定要綱に基づき評定行うものとする。

第17条 (現地地物等の保護)

本工事の施工により影響の受ける境界鉄等については、控えをとり、亡失することのないように施工を行い、やむを得ない理由により移動させた場合には施工後元の位置に復元すること。

工事数量総括（内訳）表

第 01-01-001-3-030 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路修繕						
			1	式		
舗装工						
			1	式		
A s 舗装打換え工						舗装版切断 10.000 m 舗装版破碎 390.000 m2 殻運搬 20.000 m3 殻処分 20.000 m3 不陸整正 414.000 m2 表層 406.000 m2 下層路盤 9.000 m2
			1	式		
仮設工						
			1	式		
交通管理工						交通誘導警備員 8.000 人日
			1	式		
道路改良						
			1	式		
道路土工						
			1	式		
掘削工						掘削 2.000 m3 土砂等運搬 2.000 m3
			1	式		
残土処理工						整地 2.000 m3
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 01-01-001-3-030 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 01-01-001-3-030 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路修繕									
舗装工									
A s 舗装打換え工									
舗装版切断					10.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)					10.000	m			施工P 第0001号代価表
舗装版破碎					390.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(10cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)					390.000	m2			施工P 第0002号代価表
殻運搬					20.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無し)(11.5km以下),費用の内訳(全ての費用)					20.000	m3			施工P 第0003号代価表
殻処分					20.000	m3			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下					46.000	t			
不陸整正					414.000	m2			
不陸整正 補足材料の有無(有り),補足材料平均厚さ(49mm以上55mm未満),補足材料(粒度調整碎石 M-30),費用の内訳(全ての費用)					414.000	m2			施工P 第0004号代価表
表層					406.000	m2			

本工事費内訳書

第 01-01-001-3-030 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
表層(車道・路肩部) 平均幅員(1.4m以上),1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm),材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類(プライムコート PK-3),費用の内訳(全ての費用)	406.000	m2			施工P 第0005号代価表
下層路盤	9.000	m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)(200 mm),施工区分(1層施工),材料(再生クラッシュラン RC-40),費用の内訳(全ての費用)	9.000	m2			施工P 第0006号代価表
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	8.000	人日			
交通誘導警備員B	8.000	人日			
道路改良					
道路土工					
掘削工					
掘削	2.000	m3			
掘削 土質(土砂),施工方法(上記以外(小規模)),施工数量(小規模(標準))	2.000	m3			施工P 第0007号代価表
土砂等運搬	2.000	m3			
土砂等運搬 土砂等発現場(小規模),積込機種・規格(バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)),土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(5.0km以下)	2.000	m3			施工P 第0008号代価表

本 工 事 費 内 訳 書

第 01-01-001-3-030 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
残土処理工					
整地	2.000	m3			
整地 作業区分(敷均し (ルース)), 敷均し作業内 容(狭小幅員 (幅2.5m以上4m未満))	2.000	m3			施工P 第0009号代価表
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.53%, 労52.76%, 材40.71%, 市0.00%)

第01-01-001-3-030号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.410	%			K1
特殊作業員	18.310	%			R1
世話役	9.400	%			R2
普通作業員	7.950	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	38.030	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.810	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.78%, 労85.16%, 材6.06%, 市0.00%)

第 01-01-001-3-030号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	8.780	%			K1
普通作業員	39.620	%			R1
世話役	23.320	%			R2
運転手 (特殊)	22.220	%			R3
軽油 1.2号	6.060	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 障害等の有無	1	無し
J 0 3 騒音振動対策	1	不要
J 0 4 舗装版厚	3	10cm以下
J 0 6 積込作業の有無	1	有り
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.98%, 労37.01%, 材14.01%, 市0.00%)

第01-01-001-3-030号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.980	%			K1
運転手 (一般)	37.010	%			R1
軽油 1.2号	14.010	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	2	舗装版破碎
J02 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J03 DID区間の有無	1	無し
J10 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下
J16 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 不陸整正

施工P(機19.28%, 労36.36%, 材44.36%, 市0.00%)

第01-01-001-3-030号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅3.1m	7.690	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	6.000	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	5.590	%			K3
運転手 (特殊)	21.940	%			R1
普通作業員	14.420	%			R2
粒度調整碎石 M-30	40.440	%			Z1
軽油 1.2号	3.920	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	13	49mm以上55mm未満
J03 補足材料	11	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0005 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.50%, 労8.65%, 材87.85%, 市0.00%)

第01-01-001-3-030号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.880	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.530	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.530	%			K3
普通作業員	3.130	%			R1
特殊作業員	1.790	%			R2
運転手 (特殊)	1.740	%			R3
世話役	0.610	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	80.650	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.800	%			Z2
軽油 1.2号	0.340	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均幅員	3	1.4m以上			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm			
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第 0006 号 代価表 下層路盤(車道・路肩部)

施工P(機5.84%, 労11.91%, 材82.25%, 市0.00%)

第01-01-001-3-030号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅3.1m	2.140	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	1.670	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	1.550	%			K3
運転手 (特殊)	6.110	%			R1
普通作業員	4.820	%			R2
再生クラッシャーラン RC-40	81.070	%			Z1
軽油 1.2号	1.090	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚 (実数入力)	200	200 mm
J02 施工区分	1	1層施工
J03 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 掘削

施工P(機32.28%, 労57.30%, 材10.42%, 市0.00%)

第 01-01-001-3-030号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	32.280	%			K1
運転手(特殊)	57.300	%			R1
軽油 1.2号	10.420	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 施工方法	5	上記以外(小規模)
J06 施工数量	6	小規模(標準)

第 0008 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機27.15%, 労61.40%, 材11.45%, 市0.00%)

第01-01-001-3-030号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	27.150	%			K1
運転手 (一般)	61.400	%			R1
軽油 1. 2号	11.450	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土砂等発生現場	2	小規模
J 0 2 積込機種・規格	5	バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
J 0 3 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J 0 4 DID区間の有無	1	無し
J 1 3 運搬距離 (km) (DID区間無)	7	5.0km以下

第 0009 号 代価表 整地

施工P(機21.16%, 労72.81%, 材6.03%, 市0.00%)

第01-01-001-3-030号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (1次基準)]] 3 t 級	21.160	%			K1
運転手 (特殊)	53.040	%			R1
普通作業員	19.770	%			R2
軽油 1. 2号	6.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	2	敷均し (ル-ズ)
J 0 2 敷均し作業内容	3	狭小幅員 (幅2.5m以上4m未満)

数 量 総 括 表

R元単・市道A3030号線道路舗装工事 石岡市 東府中 地内

工 種	種 別	細 別	規 格	算 式	単 位	数 量	積算数量
構造物撤去工							
	構造物取壊し工	舗装版切断	舗装版切断		m	9.6	10
		舗装版破碎	舗装版破碎	別紙計算書	m ²	394.2	390
	運搬処理工	As殻運搬	殻運搬(2tダンプトラック積)	11.5km以下	m ³	19.7	20
		As殻処分	アスファルト廃材処理費 (中間処理施設)		t	46.3	46
舗装工							
	舗装準備工	不陸整正	M-30 t=49~55mm	別紙計算書	m ²	414.1	414
	アスファルト舗装工	表層	再密As20 t=50mm	別紙計算書	m ²	406.1	406
	路盤工	下層路盤	RC-40 t=200mm	別紙計算書	m ²	8.8	9
道路土工							
	掘削工	掘削	(11.2+2.3)×0.65m×0.2m		m ³	1.75	2
		土砂等運搬	土砂運搬(4tダンプトラック積)	5.0km以下	m ³	1.75	2
仮設工	交通管理工	交通誘導員	交通誘導員B		人	8	8

計 算 書

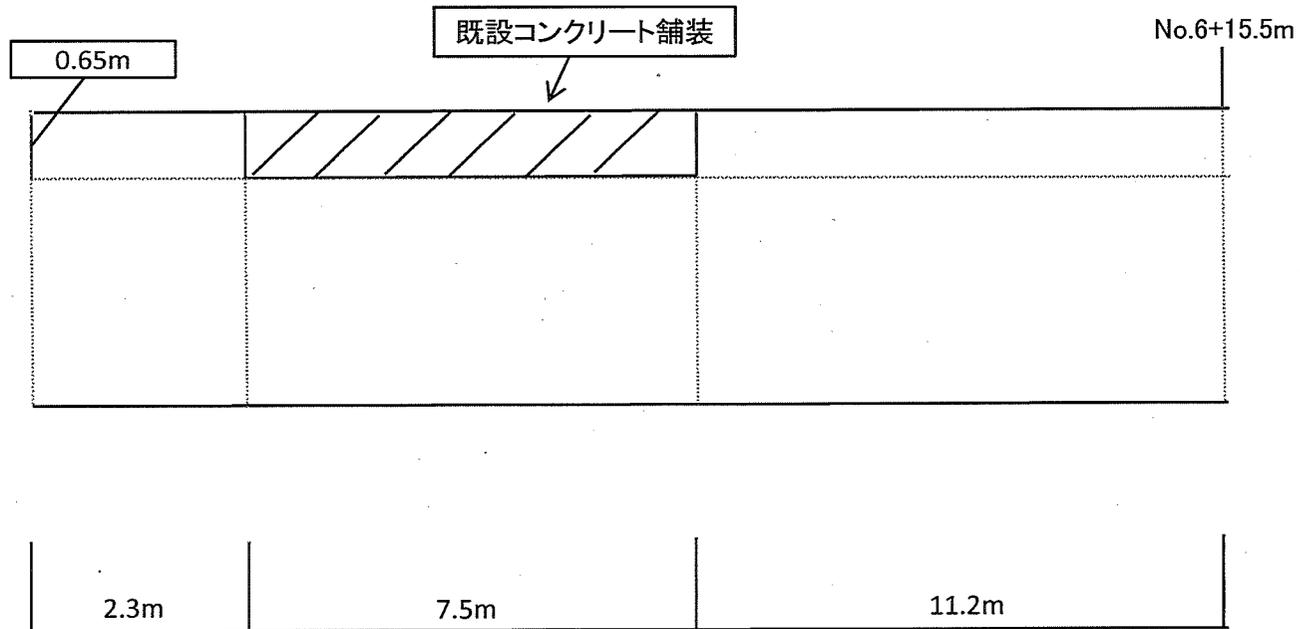
R元単・市道A3030号線道路舗装工事（石岡市 東府中 地内）

測 点	点 間 距 離 m	不陸整正工(M-30 t=49~55mm)			表層(再密As20 t=50mm)			既設舗装版撤去		
		幅 m	平均 m	面積 m2	幅 m	平均 m	面積 m2	幅 m	平均 m	面積 m2
B.P.	0	4.00			4.00			4.00		
No.1	20.00	3.46	3.73	74.6	3.26	3.63	72.6	3.26	3.63	72.6
No.2	20.00	3.30	3.38	67.6	3.10	3.18	63.6	3.10	3.18	63.6
No.3	20.00	2.98	3.14	62.8	2.98	3.04	60.8	2.98	3.04	60.8
No.4	20.00	3.05	3.02	60.3	3.05	3.02	60.3	3.05	3.02	60.3
No.5	20.00	3.05	3.05	61.0	3.05	3.05	61.0	3.05	3.05	61.0
No.5+14.5	14.50	2.40	2.73	39.5	2.40	2.73	39.5	2.40	2.73	39.5
No.6	5.50	2.70	2.55	14.0	2.70	2.55	14.0	2.05	2.23	12.2
No.6+15.5	15.50	2.40	2.55	39.5	2.40	2.55	39.5	1.75	1.90	29.5
控除										
マンホール	φ690 N=1.0箇所			-0.4			-0.4			-0.4
既存コンクリート舗装部				-4.9			-4.9			-4.9
合 計	135.50			414.1			406.1			394.2

As殻計算書

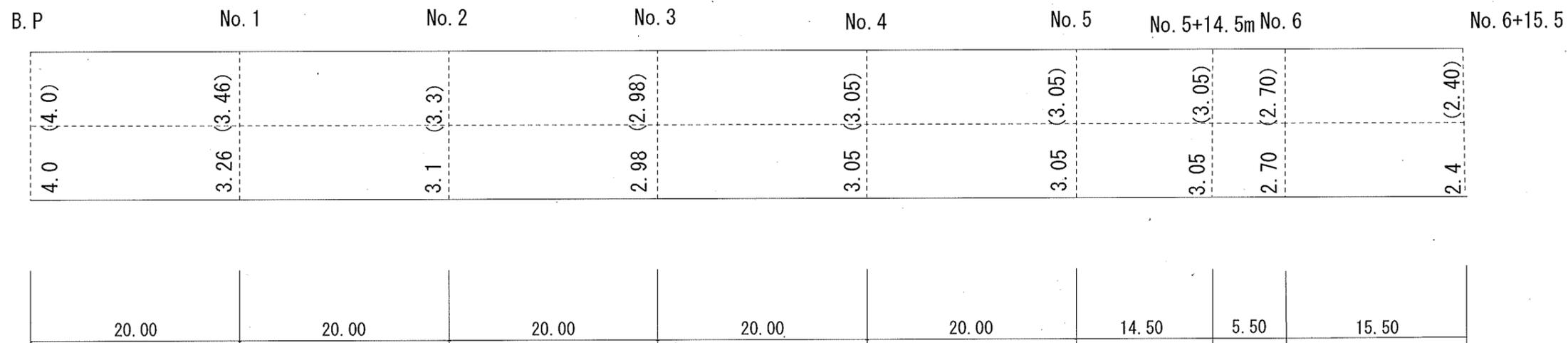
$$\begin{array}{rclcl} 394.20 & \text{m}^2 & \times & 0.05 & = & 19.710 & \text{m}^3 \\ 19.71 & \text{m}^3 & \times & 2.35 & = & 46.319 & \text{t} \end{array}$$

平面図 (コンクリート舗装部)



コンクリート舗装版切断	7.5m
コンクリート舗装版破碎	0.48m ³
コンクリート舗装	13.65m ²

平面図



() は、不陸整正幅

年 度	令和元年度	図 面 番 号	1/1
工 事 名	R元単・市道A3030号線道路舗装工事		
図 面 名 称	平 面 図		
工 事 箇 所	石岡市 東府中 地内		
石 岡 市			